

	<p>テーマ</p>	<p>a: 少年非行の実態と防止      b: 暴力の知識と防止      c: 自殺防止教育 防災教育と災害後の心のケア</p>		
<p>中学校</p>	<p>ねらい</p>	<p>a: 薬物依存・少年非行に陥る少年の心理を学び、それらが命をおびやかす行為であることを理解し、その兆候を知ることにより未然に防ぐ知恵を学ぶ。 b: カットしてふるう暴力と支配のための暴力があることを学び、暴力以外の方法で自分の気持ちを表現することを学ぶ。 c: 自殺について知り、自殺を避けるためにできることについて考える。 自然災害に襲われた人々が、その困難をいかに乗り越えてきたかについて学び、災害への対処を身につける。また被災後の心のケアについて学ぶ。</p>		
	<p>指導のポイント</p>	<p>事前</p>	<p>学習・体験</p>	<p>事後</p>
	<p>【感動の体験】 売春・薬物・自殺サイト等犯罪になぜ巻き込まれるのか、その心理的背景等の学習をとおして、犯罪が身近に潜んでいることに気づかせる。 人類は災害と闘い、災害の中から知恵と勇気を学んできたことを知らせる。</p> <p>【感性を育む】 命をおびやかす犯罪を拒む勇気と知識を持たせる。 事例や手記をとおして、危機に直面した時に冷静に判断しようとする姿勢を身につけさせる。</p> <p>【想像力の育成】 犯罪に巻き込まれる心の隙間を考えさせ、未然に防ぐ知恵を学ばせる。 災害を切り抜けた人々のことを知らせ、その勇気を学ばせる。</p>	<p>【先生の準備】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ a: 少年を巻き込む犯罪が、愛情を求める心理を利用した卑劣な行為であることを事前に認識しておく。</li> <li>・ b: 暴力意識のアンケート調査を実施する。</li> <li>・ c: サインに気づいた時の対処法を研修しておく。</li> </ul> <p>・ 自然災害の写真や資料、薬物や少年非行等に関する情報を集めておく。</p> <p>・ 子どもの家庭環境やプライバシーに十分配慮し、事前事後の個別指導を充実させる。</p> <p>・ 家庭と連携をとり学習や体験内容に配慮する。</p> <p>【教育課程上の位置づけ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保健体育</li> <li>・ 道徳</li> <li>・ 特別活動</li> </ul> <p>【子どもたちの準備】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 暴力意識のアンケート調査に回答する。</li> <li>・ 災害や犯罪についての報道に注目する。</li> </ul> <p>【家庭・地域との連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学級通信・保護者会等で学習の内容や資料を提供する。</li> <li>・ 地域の警察、補導員、民生委員等と連携をとる。</li> </ul>	<p>【 a】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 少年非行の実態と防止</li> <li>・ 薬物依存や少年非行の事例を読み、その心理を考え、防ぐにはどのような行動が必要かを討議する。</li> <li>・ 非行に関する劇を見て、非行の怖さとその防止策を学ぶ。(兵庫県警少年非行防止劇団「麦の穂」)</li> </ul> <p>【 b】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 暴力の知識と防止</li> <li>・ 衝動的暴力と道具的暴力について学ぶ。</li> <li>・ 衝動的暴力にはストレスマネジメント体験を学ぶ。 『学校・家庭・地域における暴力防止研究 - 学校における危機対応実践プログラム開発研究 -』 (県立教育研修所心の教育総合センター)</li> </ul> <p>【 c】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自殺について</li> <li>・ 自殺の実態について知る。</li> <li>・ サインに気づいた時の対処法を学ぶ。</li> <li>・ 「自殺は許されないものである」ということを実感する。</li> <li>・ どんな相談機関があるか知る。</li> <li>・ 自殺予防対策支援ページ「いきる」を活用する。 (国立精神・神経センター精神保健研究所 <a href="http://www.ncnp.k.go.jp/ikiru-hp/">http://www.ncnp.k.go.jp/ikiru-hp/</a>)</li> <li>・ 『青少年のための自殺予防マニュアル』(金剛出版)を活用する。</li> </ul> <p>【 】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 被災・被害後の心のケア</li> <li>・ 災害や犯罪の報道について被害者の立場から見直す。</li> <li>・ 震災後の手記や資料から、周囲の人からの言葉かけの中で、傷つく言葉と元気がでる言葉を考える。(二次的被害の防止)</li> <li>・ トラウマについて学び、災害時の望ましい対処を考える。 『明日に生きる』(兵庫県教委)の活用 ゲストティーチャーの話</li> <li>・ 台風被害や地震を体験した人々の話を聞く。</li> </ul>	<p>【子どもたちの予想される心の動き】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 犯罪は心の弱みにつけ込んでくるんだ。</li> <li>・ はっきり断る勇気を持ちたい。</li> <li>・ つらいことがあったら、悲しくなるのは自然なことなんだ。</li> <li>・ 人が力を合わせると生きぬくことができるんだ。</li> </ul> <p>【振り返りカードへの記入】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学習・体験の後に、子どもたちに自分の心の動きを振り返らせ、振り返りカードに記入させる。</li> </ul> <p>【日常生活での実践・家庭との連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学習内容と子どもの反応を通信や保護者会の場等で伝える。</li> <li>・ 防災グッズを準備する。</li> <li>・ 非常時の連絡方法・集合場所等を家族で決めておく。</li> </ul> <p>【先生の振り返り】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 犯罪に巻き込まれる心理を理解させた上で、自分の身を守る知恵と勇気を持たせることができたか。</li> <li>・ 災害を生き抜いた人々の知恵と勇気から、人間の生きる力の素晴らしさを実感させることができたか。</li> </ul>